

～手話を学びたい人は～

品川区では「手話を学びたい」という人のために、手話講習会を開催しています。多くの人と交流を深めるために、またボランティアや仕事として活用するために、ぜひご参加ください。

手話講習会 聴覚障害者への理解促進と手話の普及を目的に、手話を初めて学ぶ人向けの講座や手話通訳者養成講座を開催しています。

【問い合わせ】 障害者地域活動支援センター 逢「あえる」(品川区立心身障害者福祉会館内、品川区旗の台5-2-2) 電話03-5750-4996 (直通)、FAX03-3782-3830

ホームページ

手話サークル 品川手話サークルは、耳の聞こえる人と聞こえない人が交流し、地域福祉の向上を目指し、品川区聴覚障害者協会と連携して活動しています。

【主 な 活 動】 手話と聴覚障害者への理解を深める学習、聴覚障害者との交流、手話に関わるボランティア活動など。
【問い合わせ】 品川手話サークル Eメール: shinashuwa@gmail.com

ホームページ

手話通訳者・要約筆記者を派遣

聴覚などの障害で意思疎通に支障がある方の社会生活を支援するため、手話通訳者、音声等の情報を文字で伝える要約筆記者を派遣しています。個人(聴覚に障害のある方)のほか、企業・団体の方も利用できます。

【問い合わせ】 障害者地域活動支援センター 逢「あえる」 電話03-5750-4996 (直通) FAX03-3785-3366 (派遣専用) Eメール: sina-haken@s-kaikan.net

このマークをご存じですか



耳マーク

聴覚障害のあることを示すマークです。このマークを提示されたら、必要とされるサポートをしましょう。



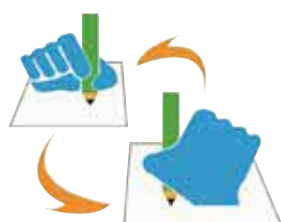
聴覚障害者標識

聴覚障害があることから運転免許に条件がある人の車に表示するマークです。周囲の運転者は配慮しましょう。



手話マーク

手話で対応することを示すマークです。手話でサポートしましょう。

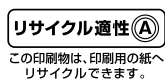


筆談マーク

筆談で対応することを示すマークです。筆談でサポートしましょう。

令和4年3月発行 品川区福祉部障害者福祉課
〒140-8715 東京都品川区広町2-1-36 電話03-5742-6707 FAX03-3775-2000

UD FONT by MORISAWA ユニバーサルデザイン (UD) の考え方にに基づき、より多くの人へ適切に情報を伝えられるよう配慮した見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



禁無断転載©東京法規出版
SG030040-W15



手話は言語

手話でつながる



・ ご存じですか「品川区手話言語条例」 ・



手話とは? ～手話を必要とする人にとって大切な言語です～

耳の聞こえる人が音声を用いて会話をする日本語や英語と同じように、手話は、手や指、顔や体の動きを用いて表現する言語です。

品川区では、令和3年7月に「品川区手話言語条例」を制定しました。手話を必要とする人が安心して生活することのできる地域社会の実現を目指します。

品川区

品川区手話言語条例を制定 (令和3年7月15日)

品川区手話言語条例は、「手話は言語」であることをみんなが理解した上で、一人一人が尊重され、手話を必要とする人が安心して生活することができる地域社会の実現をめざす条例です。

手話を必要とする人とは？

生まれつき耳の聞こえない人、聞こえにくい人など、手話をコミュニケーション方法として生活している人です。



同じ英語圏でも国が違えば手話も違います。

手話は世界共通で使える言語？

手話は、世界共通の言葉ではありません。日本には、日本の手話があり、アメリカにはアメリカの手話、イギリスにはイギリスの手話というように、各国の文化や習慣により大きな違いがあります。

手話コラム

手話にも方言があるの？

はい。地方によって少し違いがあります。手話も音声の日本語と同じ、言語なんです。

世界共通の手話ってないの？

国際手話があります！

聴覚障害者の国際的なイベントでは公用語のひとつとして使われ、国際手話の通訳者もいます。

また、イラストの手形の形は「I LOVE YOU」を表すマークとして世界で知られています。



手話は言語 ～品川区手話言語条例制定までのあゆみ～

平成18年
(2006年)

国際連合総会で「障害者の権利に関する条約」が採択され、言語に手話が含まれることが明記される。

平成23年
(2011年)

「障害者基本法」が改正され、手話が言語であることが明記される。

平成26年
(2014年)

日本が「障害者の権利に関する条約」を批准する。

令和3年
(2021年)

品川区が「品川区手話言語条例」を制定する。

現在では、手話通訳付きのテレビ放送も増え、東京2020パラリンピックにおいても手話通訳者が活躍し、社会において「手話という言語がある」、「手話を必要とする人がいる」ことが広まってきています。



手話コラム

手話の歴史

聴覚障害者の間で手話が生まれ、明治時代に設立されたり学校などで使われるようになりました。その後、手話の使用は様々な制約を受けざるを得なかった時期がありました。

このような時期を経て、「障害者の権利に関する条約」や「障害者基本法」において、手話が言語であることが明記されました。

そして、手話の理解促進のため、全国で条例制定が広がっています。

「手話は言語」みんなが理解と協力を

品川区手話言語条例では、区の責務と区民、事業者それぞれの役割が規定されています。手話は言語であるとの認識の下、手話を必要としている人が安心して生活することができる地域社会を実現していきましょう。

手話への理解促進・普及

手話への理解促進・普及や、誰もが手話を学べる手話サークルの紹介、講習会などを実施します。

また、聴覚障害者の社会生活を支援するため、手話通訳者の派遣などのほか、手話通訳者養成講座を開催します。

区

- 手話に対する理解の促進、普及
- 手話に関する施策の推進
- 手話による意思疎通が図りやすい環境の整備



区民

- 手話への理解とともに、区の手話に関する施策に協力
- 手話を必要とする人が暮らしやすい地域社会の実現に協力

事業者

- 手話への理解とともに、区の手話に関する施策に協力
- 手話を必要とする人が利用しやすいサービスを提供
- 手話を必要とする人が働きやすい環境の整備

手話への理解

地域に手話を使いながら社会生活を送っている人がいることを知しましょう。すぐに手話を覚えられなくても、ほかの手段でコミュニケーションができることを知り、何ができるか考えましょう。



働きやすい環境づくり

耳が聞こえない・聞こえにくい従業員が職場に適応できるよう、ほかの従業員が簡単な手話を覚えたり、筆談や絵・図などを利用したりして円滑な意思疎通を図りましょう。



みんなができること

耳が聞こえない・聞こえにくい人は、普段どんなことに困っているのでしょうか。何に困っているかを知り、私たちにどんなことができるのか考えてみましょう。ちょっとした「気づき」や「心配り」がコミュニケーションを円滑にします。

困っていること

外見では気づいてもらえない

耳が聞こえない・聞こえにくいことは、外見からはわからないので、生活の中で困ることがあります。



話しかけても気がつかない場合は、聞こえないのかもしれませんが、視線を合わせ、和やかな表情で声をかけましょう。

音声による放送に気づかない

駅や商業施設などの放送による案内が聞こえません。また、病院や銀行などの口頭による呼び出しが聞こえません。



電光掲示板がある場所を示したり、筆談や簡単な身振り・手振りなどで情報を知らせましょう。

手話以外のコミュニケーション

聴覚障害者には、中途失聴者や音・言葉が聞き取りにくい難聴者など、いろいろな方がいます。また、すべての聴覚障害者が手話を使うとは限らないので、その人が望んでいるコミュニケーション方法でサポートしましょう。

筆談

ノートやメモ帳などに文章を書きながら会話をしましょう。その場合、短くわかりやすい文章を書くようにしましょう。図やイラストを描くのも有効な方法です。



スマートフォンなど

たとえば、スマートフォンやタブレットの画面を見せたりして、こちらが伝えたいことを表現するのも有効な方法です。必要に応じてさまざまな方法を組み合わせてみましょう。



手話を覚えよう

手話は、手の形だけでなく同時に目や眉、頭、肩などの動きが必要です。手話は立体的で動きがあります。手話と親しむために身近なものから覚えて積極的に使ってみましょう。

あいさつの手話（こんにちは）



あいさつの手話は、左の絵のように片手をあげます。「おはよう」も「こんにちは」も「こんばんは」も同じです。世界には約7千の言語があるといわれますが、朝、昼、夜で同じ言葉を使う言語も多数あります。

日本語と手話は別の言語なので、単語は必ずしも一対一にはなりません。「あいさつ」の手話も、さまざまな表現方法があります。目上の人にあいさつするときは肩をすぼめるなど、手話も日本語と同じように敬語があります。

ありがとうございます



利き手の小指側をもう一方の手の手首あたりに置いてから上にあげます。

うれしい



胸の前で、指を開いた両手を交互に上下させます。

大丈夫



利き手の反対側の肩のあたりから利き手側に動かします。

よろしくお願いします



顔の前でにぎった手を開きながら前に出します。

元気



胸の前で、下向きに握った手を2回押し下げます。

わかる



利き手で胸を軽くたたきます。

わからない



利き手の肩あたりを上に払います。「わからない」という顔の動きをつけましょう。

好き



利き手の人差し指と親指を開いてあごに当て（指はあごにつけなくても構いません）、人差し指と親指を閉じながら前方の斜め下に手を動かします。

なに？



手の動きと同時に首を小刻みに左右に振ります。

危ない



両手を開いて5本の指を少し曲げ、利き手は胸、非利き手はみぞおちあたりに強く置きます。同時に「危ない」という表情を必ずつけます。

ポイント

手話は顔の動きで文法を表します。手や指だけでなく、顔の動きも大切です。主に利き手を動かしますが、荷物を持っているときなどは、反対の手を使うこともあります。